

大雨と雷及び突風に関する農作物等の技術対策

福島県農林水産部農業振興課

平成25年7月9日06時09分、「大雨と雷及び突風に関する福島県気象情報 第1号」(福島地方気象台)が発表されました。

(見出し)

福島県では、9日夕方から夜のはじめ頃にかけて、局地的に雷を伴って激しい雨が降り、大雨になる所がある見込みです。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、落雷、竜巻などの激しい突風、ひょうに注意してください。

(本文)

【気象状況】

東北地方では、引き続き湿った南よりの風が流れ込み、大気の状態が非常に不安定となっています。

【雨・雷】

<地域・時期・量的予想>

福島県では、9日日中は気温が上昇し、さらに大気の状態は不安定になる見込みです。9日夕方から夜のはじめ頃にかけて、局地的に雷を伴って1時間に40ミリの激しい雨の降る所がある見込みです。

10日06時にかけて予想される24時間雨量は、多いところで70ミリです。

<防災事項>

土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、落雷、竜巻などの激しい突風、ひょうに注意してください。発達した積乱雲の近づく兆しがある場合には、建物内に移動するなど、安全確保に努めてください。

【補足事項】

今後、気象台の発表する警報や注意報、竜巻注意情報、気象情報に留意してください。次の「大雨と雷及び突風に関する福島県気象情報」は、9日16時30分頃に発表する予定です。

大雨や突風に備えて、以下により対策に万全を期してください。

1 水 稲

(1) 事前対策

- ア 増水に備え、用排水路を点検しゴミ等を取り除いておきましょう。
- イ 水路が増水している場合は、危険ですので近づかないで下さい。

(2) 事後対策

浸水・冠水した場合は、早急に排水を図り少しでも早く葉先を出すよう努めてください。

2 大 豆

(1) 事前対策

- ア 速やかにほ場排水ができるよう明きょ、暗きょ等を点検し、ゴミ等の除去など実施しておきましょう。
- イ 滞水しやすいほ場では、必要に応じて畦畔の切削等を実施し排水に備えましょう。

(2) 事後対策

表面水や明きよの滞水は早急にほ場外に排水しましょう。

3 そば

(1) 事前対策

滞水しやすいほ場では、必要に応じて畦畔の切削等を実施し排水に備えましょう。

(2) 事後対策

地表面に滞水が見られる場合は、溝切りなどの排水対策を行いましょう。

4 野菜・花き

(1) 事前対策

ア 共通

(ア) ほ場周囲の排水溝を点検し、速やかに排水できるようにしておきましょう。水害の起こりやすい地帯では強制排水のポンプも準備しておきましょう。

(イ) ほ場周囲に防風ネットを設置している場合は、ワイヤー・針金の緩みやネットの破損を点検し補修しましょう。

(ウ) パイプハウスの被覆資材及び止め具（マイカ線、ビニペット等）を点検し、ビニールの破損があれば補修しましょう。

(エ) パイプハウスやネット栽培等で支柱を使用しているものは筋かいを入れ、補強しましょう。

(オ) 施設では、天窓や扉があおられたり風が吹き込まないように完全に閉めておきましょう。

(カ) 雨よけのみのパイプハウス等施設は強風に弱いため、ラセン杭、ハウスバンド等で浮き上がらないようにしっかりと固定しましょう。

(キ) 収穫可能なものは、できるだけ事前に収穫しましょう。

イ 野菜

(ア) 露地の葉菜類や根菜類では、被覆資材（不織布等）を支柱を用いて浮き掛けすることにより被害を軽減することができます。その際は、被覆資材が風に飛ばされないようにしっかりと止めましょう。

(イ) アスパラガスやピーマンでは、フラワーネットと支柱、ナスでは支柱等を点検し、倒伏を防止しましょう。

ウ 花き

露地栽培では、フラワーネットの張りや支柱を点検し、倒伏や曲りを防止しましょう。

(2) 事後対策

ア 共通

(ア) 停滞水は、明きよなどで速やかな排水に努めましょう。

(イ) 冠水した場合は、圃場への出入りによって土壌の物理性が悪化しないよう配慮しましょう。ぬかるむ場合は、出入りを極力避けましょう。

イ 野菜

(ア) 排水後、ほ場作業が可能になったら直ちに畦間の中耕を行い、土壌の通気性を良くし根の働きを回復しましょう。

- (イ) 果菜類等でネット等からはずれたつるや茎葉等は、再度誘引し直しましょう。茎葉の損傷が激しい場合は、新葉(枝・つる)の発生を確認してから摘除しましょう。
- (ウ) 冠水や多湿、茎葉の損傷等により病害にかかりやすくなっていますので、直ちに適切な薬剤散布を行いましょ。また、草勢回復のため、液肥のかん注や葉面散布剤の散布を行いましょ。
- (エ) 果菜類では、損傷を受けた果実は早急に摘果しましょ。

ウ 花 き

- (ア) キクやリンドウ、シンテッポウユリ等の露地栽培では、風雨により損傷を受けると病害が発生しやすいので、速やかに適切な薬剤散布を行ったり、草勢回復のために液肥の葉面散布を行いましょ。
- (イ) ほ場が冠水した場合は、速やかに排水を行うとともに、付着した泥を洗い流し、灰色かび病等の予防薬剤散布を行いましょ。また、液肥の葉面散布や酸素供給剤のかん注により、草勢回復を図りましょ。

5 果 樹

(1) 事前対策

- ア 収穫期に入っているモモ等では、強風による落果や傷害が心配されるので、収穫可能な果実は事前に収穫しましょ。
- イ 立木では、主枝などの大枝が裂けるおそれがあるので、支柱で支え、脱落しないよう枝受け部分を結束しましょ。また、側枝は支柱等で固定すると落果を助長することがあるので、支柱等はずし風になびくようにしましょ。
- ウ リンゴのわい性台樹は倒伏しやすいので、支柱への結束状態を確認し、不十分な場合は補強しておきましょ。また、木支柱の場合は、支柱の根元が腐敗していないかどうか確認しましょ。
- エ 果樹棚(ナシ、ブドウ等)等の施設は、前もって点検し、強風の前にアンカー補強や棚線の締め直し等を行いましょ。また、棚周囲に防風ネットを設置している場合は、風で飛ばされないように補強しましょ。

(2) 事後対策

- ア 滞水している園地では、明きよなどにより速やかな排水に努めましょ。
- イ 落果した果実は速やかに収集し、適正に処理しましょ。
- ウ 葉や果実に損傷がある場合は、病原菌の侵入を防止するため、被害1~2日後に適切に薬剤散布を実施しましょ(使用薬剤の収穫前使用日数に注意する)。なお、被害後に定期散布が近い場合は、この散布に置き換えて実施しましょ。
- エ 落葉や葉の損傷が大きい場合には、その程度に応じて修正摘果を行いましょ。
- オ 倒伏した樹はできるだけ早く起こし、土を盛り、支柱等で固定しましょ。また、かん水やマルチにより根の乾燥防止に努め、新根の発生を促しましょ。大枝が裂けた場合は、ボルトやカスガイ等で止めるか、縄などでしばり傷口を接着させましょ。

6 畜産・飼料作物

(1) 事前対策

- ア 強風による畜舎、飼料庫、飼料タンク、堆肥舎等の損壊、及び風雨の吹き込みを未然に防止するため、屋根、扉、窓、外壁及び排水溝等の破損や亀裂等の有無を確認し、必ず補修等の応急措置を行いましょ。
- イ 特に、開放された飼料の保管場所では、乾草や稲わら等をシートで覆うなどして、雨水がかからないようにしてください。
- ウ 堆肥舎への風雨の吹き込みにより、堆肥や汚水が流出することが心配されましょの

- で、堆肥をシートで覆うなどして、流出を防止しましょう。
- エ あらかじめ停電や断水等の対応を確認し、被災時には自家発電機等による搾乳や生乳冷却等の対応ができるよう対策を行いましょ。
- オ 水はけの悪い草地や飼料畑には明きよを掘削するなど、速やかに排水できるようにしましょ。

(2) 事後対策

- ア 畜舎等が浸水した場合は速やかに排水し、疾病発生予防のため洗浄と消毒を行った後、施設内の乾燥に努めましょ。
- イ 滞水している草地や飼料畑は、明きよなどを点検し速やかに排水しましょ。
- ウ 豪雨により草地や飼料畑で土壌浸食が発生した場合は、早めに修復しましょ。

発行：福島県農林水産部農業振興課 技術革新支援担当 TEL 024 (521) 7339
(以下のURLより他の農業技術情報等をご覧いただけます)

URL：http://wwwcms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U000004&CONTENTS_ID=22752#gi_jyutsu_jyohou

モバイル版 QRコード

モバイル県庁：福島モバイル県庁→お知らせ・各種情報→農業技術情報
(右欄に掲載のQRコードよりご覧いただけます)

ふくしま新発売：以下のURLより最新の農林水産物モニタリング
情報、イベント情報等をご覧いただけます。

URL：<http://www.new-fukushima.jp/>

